

学校便り
NO. 8



あさひ

旭川市立朝日小学校

令和2年12月3日

子どもたちと共に学びます

校長 橋本 彰

一面銀世界になりました。積雪の遅さは有難く思えるのですが、子どもたちにとっては少し寂しいようです。

さて、先月の学校だよりでもお知らせしましたが、11月からは「学びの発展・充実期」として、学校運営を進めています。教科指導については、教師の指導法改善・向上を目的とした「校内研究授業」の取組を行っています。

基礎・基本の定着はもとより、これからの社会の変化に対応するためには「見通しをもって考えたり調べたりする力」や「他（友達）の考えを参考にしながら自分の考えを深めたり、自分の意見をわかりやすく表現したりする力」の育成が重要です。本校では、そうした力を確実に身に付けさせるために、授業改善の視点を明確にして研修を積み重ねています。また、より深い理解に資するよう、1人1台のタブレット型PCの効果的活用方法についても研修を進めています。（裏面囲みの記事もご参照ください。）

過日は4年生の学級で理科の研究授業を行いました。「空気は温めると体積は変わるのだろうか」との課題のもと、子どもたちはグループ毎に様々実験方法を工夫し、追究しました。話合いの場面では、タブレット型PCに録画した動画（実験の様子）を基に互いの考察を交流し、全体で比較検討し結論を導きました。目を輝かせながら実験し、進んで話合う授業でした。授業後は、外部講師として北海道教育大学 山中准教授（元文部科学省教科調査官）をお招きし、ご指導いただきました。

今後も研修を続けます。全ては朝日っ子の将来のために、職員一丸となって、子ども達と共に学び続けます。

防災授業時間 大雪と吹雪に備えて

11月2～6日



本校では、自然災害に対する防災意識を高め、実際に命を守る行動がとれるようにと、防災に関わる授業を行っています。今年度のテーマは「大雪・吹雪」とし、冬季の自然災害やそれによって引き起こされる事故にどのように備えるべきなのか、について考えて話合いました。

朝日小ではこのほかに、3年生以上で社会科や総合的な学習の時間でも防災について学ぶ授業を行っています。

問2

通学路に大きな雪山ができて、車が来ているかどうかよく見えない。

信号が青になってもすぐわたらない。

「くるま」は、きゆうには、とまらない!

車が止まったかどうか耳をすまし、車が見えるところまでゆっくり顔をだして、安全を確認してからわたる。

租税教室 税金の種類と使い道

11月17日

6年生対象に、旭川中・東法人会主催の「租税教室」が行われました。6年生は社会科の授業で公民分野について学びますが、その一環として朝日小では毎年実施しています。今回は、法人会の福居さんと本間さんに、税についてクイズを交えながら説明していただき、楽しみながら税金の大切さを実感できました。



今月の1枚



冬期間も換気を続け、校舎内の新鮮な空気と湿度を維持しています。

豊かな心で未来を拓く



各学年では絵画や習字などの作品づくりが行われています。校内に掲示された作品からは、一生懸命に取り組んだ子どもたちの表情が目に見えます。作品を鑑賞し合うことから、豊かな心は育まれます。

ご寄贈いただきました！
ありがとうございます！

- ☆橋本 政實 様
→タオル
- ☆1年 三津橋 様
→ビニール袋
- ☆安土 様
→大人用マスク



↑ 表現豊かな作品が並びます。



↑ 5・6年生は、宿泊体験学習と修学旅行での学びをまとめました。

12月の行事予定

日	曜日	行事等
1	火	ALT来校日 眼科検診(1,3,5年)
2	水	
3	木	
4	金	委員会⑤
5	土	
6	日	
7	月	保護者懇談・授業参観① 5時間授業
8	火	保護者懇談・授業参観② 5時間授業
9	水	保護者懇談・授業参観③ 5時間授業 外国語サポーター
10	木	保護者懇談・授業参観④ 5時間授業 弁当の日
11	金	保護者懇談・授業参観⑤ 5時間授業 Pepper配置(~/1/28)
12	土	
13	日	
14	月	クラブ⑥
15	火	諸費納入日
16	水	外国語活動サポーター来校日
17	木	職員会議
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	「朝日の教育」実践発表会 特別4時間授業 給食なし
23	水	
24	木	
25	金	2学期終業式
26	土	冬季休業(~/1/14)
27	日	
28	月	
29	火	学校閉庁日
30	水	学校閉庁日
31	木	学校閉庁日

1人1台タブレットで深い学びを

GIGAスクール構想
ASAHI GIGA

今年度、朝日小は、旭川市教育実践推進事業の推進校として「GIGAスクール構想」のモデル校となり、これまで「1人1台端末を活用した指導方法に関する実践研究」を行っています。それに伴い、旭川市により、市内の他の学校に先んじて児童1人につき1台のタブレットが整備されました。

授業中は、机の上に教科書・ノートとともに電源が入ったままのタブレットを置き、どの教科でも、いつでも必要なときにすぐに手に取り使用できるようにしていきます。これまでの学び方とタブレットによる学びをバランスよくミックスした新しい学びに挑戦中です！

